

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	感染症対策としての面会制限により、交流の機会が減り馴染みの関係、親しい人との繋がりが希薄になる場合がある。	馴染みの人、会いたい人との会話、交流の機会を維持する。	従来からの電話、ライン電話などの通信手段を出来る限り利用し、家族や社会とのつながりを維持、回復できる。	10ヶ月
2	35	定期的に避難訓練を実施している。入居者の平均的介護度が上がる中で、夜間の避難誘導について課題が出てきている。	夜勤時間帯の災害に備えて対策を見直す。	夜間を想定した避難訓練の実施結果を基に、課題を整理し対策について話し合う。	10ヶ月
3	23	利用者の願いや希望を叶えていくという視点を大切にする。定期的に各担当がアセスメントをし、ケア目標を定めて実践している。全職員が情報の共有に努める事が必要。	利用者の願いや希望を強く意識して、ケアにあたる。居室担当者以外の職員も把握できる。	本人の希望を確認・一人ひとりの目標設定・ケアの実施・再アセスメントの流れを繰り返し継続する。 本人が希望を話されない場合でも、入居者さんにとっての「生きがいは何か」について職員同士の意見交換を実施する。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。